

平成31（令和元）年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生を対象に行われた、全国学力・学習状況調査（国語・算数）の結果をお知らせします。この結果は学力の全てではなく一部です。しかし、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。

ご家庭におかれましても、お子様の学力の実態をとらえ、家庭で働きかける一つの資料としてお考えください。

国語（全国調査）

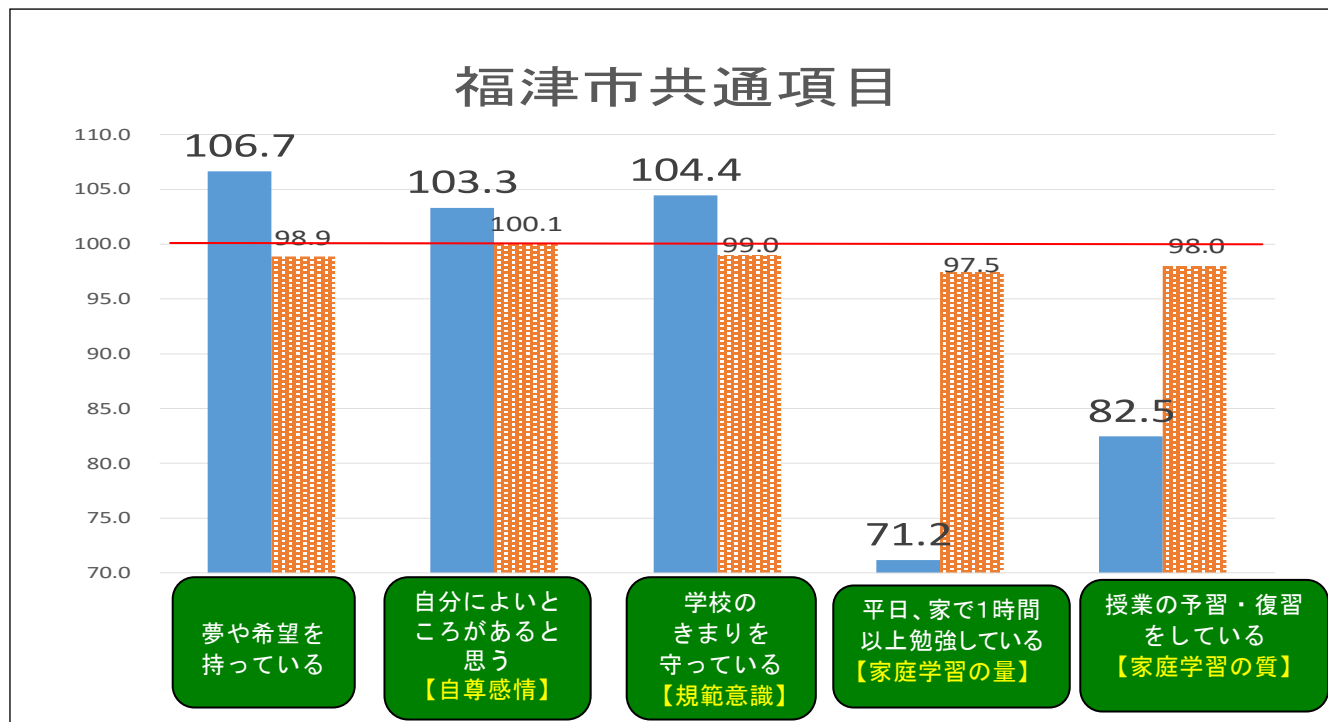
- ◇国語について、全国平均よりやや上回っています。
- ◇特に、「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の領域において、正答率が高くなっています。
- ◇これは、授業において、相手の話をしっかりと聞き、言葉で伝え合う交流活動に取り組んでいることが効果的に働いていると考えられます。また、週末課題をはじめとして、家庭学習にしっかりと取り組んでいることも特に基礎・基本の定着に役立っていると考えられます。
- ◆今後は、どの学年でも、友だちの考えを聞くだけでなく、聞いて考えたことをノートに書く活動を取り入れます。また、考えを書くだけでなく、「的確な書き方」にこだわって指導していきます。言語については、学習した内容を日常的に使うことを意識させる活動を仕組むことで、さらに国語の学力を高めていきたいと考えています。

算数（全国調査）

- ◇算数について、全国平均よりやや上回っています。
 - ◇特に、「数学的な考え方」の領域において、正答率が高くなっています。
 - ◇これは、授業において、「問い」や「全員参加の交流活動」を普段の授業に取り入れたことが効果的には働いていると考えられます。また、週末課題で出題した問題の解説を次週のチャレンジタイムで行ったことが役立っていると考えられます。
 - ◆今後は、授業の終わりの時間や、月に1度の「赤ペンタイム」を活用して習熟問題に取り組み、基礎基本の定着に努めます。また学年の実態に応じ、算数の授業を児童の習熟度別に分けて学習を行います。
- さらに国語科と同様、考えを説明する活動を低学年から多く取り入れ、自分の考えを書くことや的確に説明することにこだわって指導していきたいと考えています。

児童質問紙（福津市共通項目アンケート）

棒グラフは左から福間小、福岡県を表しています



調査結果は4段階の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値です

▽「将来の夢や目標を持っている」という項目については全国平均をやや上回り、「自分には、よいところがあると思う」「学校のきまり(規則)守っている」といった、自尊感情や将来への希望や規範意識についての項目については、全国平均とほぼ同じです。しかし、家庭学習に関する項目では、全国・県平均を下回っています。このことから家庭学習の量や質の改善が必要ということが分かります。

▼家庭学習については、「チャレンジウィーク(家庭学習強化週間)」をはじめとして、普段の宿題から確実に取り組めるように家庭との連携を図ったり、高学年では、自分で学習を進めていける力をつけるために、自主学習に取り組んだりしていきます。